

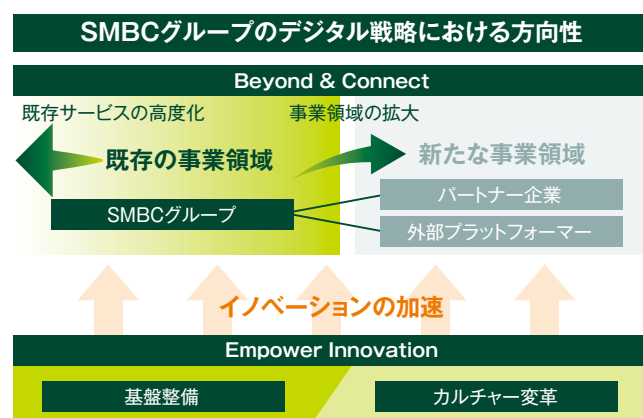
デジタルで 切り拓く金融の未来

SMBCグループのデジタル戦略について、新中期経営計画では「Beyond & Connect」と「Empower Innovation」という2つの方向性を掲げ、従来の戦略をさらに発展させることで、「SMBCグループの信頼をベースに、新たなビジネスの創出を通じ、社会的価値をも創り出すグローバルデジタルソリューションプロバイダーへの進化」を目指します。

具体的には、デジタルが持つ、さまざまなものを超えていく力と結び付けていく力(Beyond & Connect)により、多様なパートナー企業と連携し、業態・企業・地域等の壁を超えたソリューションの提供を行うことで、お客さまの利便性のさらなる向上を図るとともに、将来のSMBCグループの礎となるビジネスの創出・育成を行います。

同時に、ビジネスを進めるにあたっては、技術革新の進展、人口動態の変化、価値観の変容や地政学リスクの台頭といったさまざまな事象が複雑に絡み合って激しく変化する環境下で、新興国も含めた世界的なデジタル化が進展している状況にも目を向ける必要があります。事業環境が変容する中で、刻一刻と変化するお客さまのニーズに対応するため、状況に応じた事業の方向性のピボットを行い、時流に沿ったビジネスモデルの変革を行っていきます。

また、新たなビジネスを創出するためには、イノベーションを加速する枠組の強化(Empower Innovation)が不可欠です。グローバルベースでオープンイノベーション組織の強化やスタートアップ投資のためのコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)の設立といった、新規事業のスピーディーな立ち上げのための機能を整備するとともに、「社長製造業」や社内SNS等のカルチャー変革のための取組を継続し、社内外から新規ビジネスの種が生まれる仕組づくりを加速していきます。



Beyond & Connect 1 デジタルサービスの拡充・進化

SMBCグループは、デジタル戦略における2つの方向性のうちのひとつである「Beyond & Connect」の下で、さまざまなデジタルサービスの拡充・進化を進めています。その中で、医療や決済、契約といった社会全体の課題を解決し、豊かにする事業領域でのサービス開発にも注力しており、一部のサービスは社会全体のインフラとして機能しつつあります。

医療領域においては、人生100年時代における個人の豊かな生活をサポートしています。子会社のプラスメディアでは、2023年3月、銀行の持つ信頼を活かして、パーソナルデータを安全・安心に預かる情報銀行サービスを組み込んだ新しい通院支援アプリ「wellcne（ウェルコネ）」をリリースしました。アプリを医療機関の電子カルテや医事システムと接続することで、通院時の時間短縮・混雑緩和や、

医師や病院とのコミュニケーション、医療データの共有を実現しています。これらの取組は、三井不動産レジデンシャルが運営するシニアレジデンス「パークウェルステイト千里中央」等、さまざまな企業や自治体との連携を通じて個人のお客さまに提供されています。



決済の領域では、2023年7月に、最先端のICT技術と業務効率化ノウハウでBPOサービスを提供するNCoreと、電子バーコードを使って払込票のペーパーレス化を実現するサービス「PAYSLE」を提供するブリースコーポレーションの子会社2社の合併による新会社「BPORTUS（ビーポータス）」を設立しました。それぞれの会社が持つ請求業務効率化に関する課題解決力や独自の技術力等の強みの統合により、デジタル技術を活用した効率的かつ利便性の高い決済ソリューションの提供を加速します。

執行役専務
グループCDIO

磯和 啓雄



デジタルで切り拓く金融の未来

契約の領域では、2022年7月、電子契約サービスを提供するSMBCクラウドサインが企業の契約書管理をAIでサポートする新サービス「AI契約書管理」の提供を開始しました。導入企

業数がすでに5,000社を超え、国内トップクラスのユーザー数となっています。今後もさまざまな機能拡大を通じて、企業間の取引を契約の側面からもサポートしていきます。



Beyond & Connect 2 将来に向けた取組

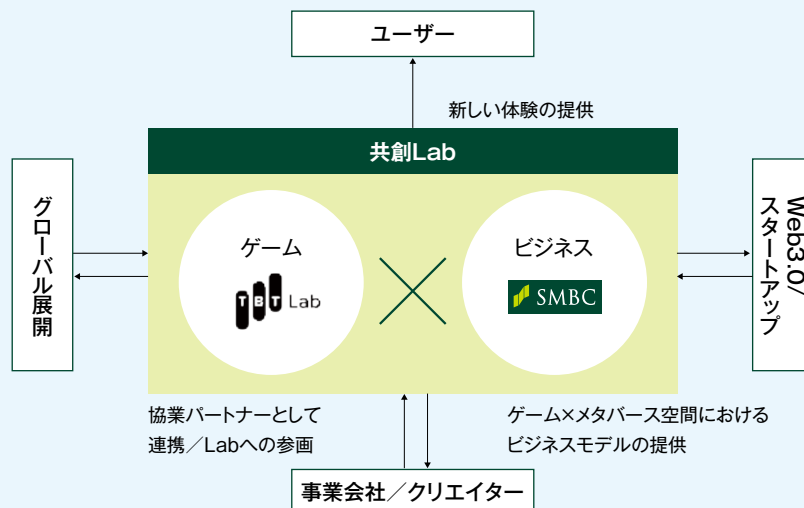
足元の社会課題解決のための取組に加え、将来のSMBCグループの礎となるビジネスを創るために、トークンやゲーム等を中心としたWeb3.0の領域において、新たなビジネスの機会を求め、パートナー企業とさまざまな新しい取組を進めています。

トークンの領域においては、2022年7月に同分野で豊富な知見を有するHashPortグループとNFT領域を中心とした協業の検討を開始しまし

た。2023年4月からは、移転不可能なNFTと呼ばれ、オンライン上の個人の証明等への活用が期待される、ソウルバウンドトークン(SBT)のビジネス化に向けた実証実験を開始しており、社内のさまざまな部署からアイデアを募って、グループ一体でビジネスの可能性を追求しています。

ゲームの領域においては、ゲーム×メタバース空間における新しいサービス提供を展望しています。同領域で高

い技術と知見を持つTBT Labグループとともに「共創Lab」というオープン組織を新設し、ゲームとビジネスを融合させるゲームコマースの実現に向けた取組検討を加速しています。加えて、2023年2月にはTBT Labグループを中心とした国内企業10社間で、リアルとデジタルの融合により産業全体の発展を目指す「ジャパン・メタバース経済圏」創出に向けた基本合意書も締結しています。



Empower Innovation デジタルビジネス推進基盤の整備とカルチャー変革の実現

もうひとつの方向性の「Empower Innovation」の下では、イノベーションを加速するための基盤の整備と、カルチャー変革のための施策を拡充しています。

基盤整備においては、新規デジタル事業について迅速な意思決定とリソース配賦で事業化を支援するCDIOミーティングの開催や、国内外各地におけるオープンイノベーション拠点の設置等、従来さまざまな体制整備を行ってきました。

新たな取組として、スタートアップ連携によるエコシステムの構築を目指し、2023年5月には、アジアを中心とした有望企業への投資を主目的とする総額2億米ドルのCVC「SMBC Asia Rising Fund」をインキュベイトファンドと共同で設立しました。本CVCは、アジアで第2・第3のSMBC

グループを創るというマルチフランチャイズ戦略とも連動し、さらなる付加価値の創出を目指します。その他、2022年8月には、渋谷にあるオープンイノベーション拠点「hoops link tokyo」を再現したVR空間「virtual hoops link」を構築し、音声・チャットによる交流をはじめとして、イベント・会議やオブジェクト展示等さまざまな用途に活用しています。

カルチャー変革にあたっては、社内SNSの「ミドリば」、「社長製造業」によるデジタル子会社への若手社長の抜擢、特定の新規事業検討チームへの参加公募等、ボトムアップで新規ビジネスを創るためのカルチャー醸成を進めています。また、「DX-link」と「Business-Navi」という2つのデジタル系オウンドメディアや、DXへの取組を発信する「SMBC Digital Summit」

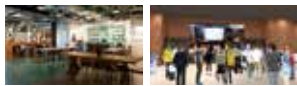
のイベント主催等を通じて、カルチャーの浸透を図る施策も行っています。

2023年5月には、若手従業員が社内SNS「ミドリば」で発信したアイデアから生まれ、NTTデータNJKと共同開発したマンション管理DXサービスが、社内SNS発第1号案件として立ち上がりました。法人営業部の担当者が、マンション管理に関する一連の複雑な業務についてお客さまの困りごとを聴取したことがきっかけで、担当者が自ら行動を起こし、「カラを破る」を体現しました。2023年7月にはNCoreとブリースコーポレーションの2社が合併して誕生した新会社BPORTUSの社長を社内公募で選出する等、これまでのSMBCグループにはなかった取組が着実に形となりつつあり、今後もこのモメンタムを加速させていきます。

基盤整備

イノベーション・ハブ

- シリコンバレー・ラボやシンガポール拠点で現地スタートアップ等との紐帯強化
- VR空間上でもイノベーションハブ: virtual hoops linkを構築



シリコンバレー・ラボ virtual hoops link

CDIOミーティング

- スピーディーな意思決定で各アイデアの事業化を支援する体制を構築



新たな事業の創出

社内投資ファンド

- アジアでの投資活動を推進していくためにインキュベイトファンドとのCVCを設立



カルチャー変革

対外発信メディア

- SMBCグループの理念やデジタルの取組を社内外に発信



社長製造業

- 社内ベンチャー起業を積極的にサポートし、社長には若手を抜擢



社内SNS

- 新規事業経験者等がメンターとなり、アイデアの事業化支援のためのコミュニティ運営
- SNS発となる新事業第1弾「マンション管理DX」のサービスローンチ

ミドリば